



ヤクルト保育園  
プティット小野田

# 園だより



ご入園、ご進級おめでとうございます。



暖かな陽気を感じる中、一つお兄さん、お姉さんになった子供たちの姿がたくましく見えます。今年度は～一人ひとりの発達に応じた丁寧な保育～を保育理念とし子どもの発達に加え、その子の興味関心と合わせて、遊びや保育環境を考えていきたいと思っています。

例えば戸外での活動が気持ちよい季節、身の回りの身近な生き物に触れたり、植物の匂いを嗅いだりしながら体感概念の形成を促していければと思います。

この1年間一人ひとりがどんな風に成長していくのか、職員一同ワクワクしています。保護者のご協力が必要な時期、子ども達の声や保護者の声を聞きながら、子ども達の“やってみよう”を叶えられる環境を整えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



## \* 職員紹介 \*

- ・施設長：竹内陽子  
経費節減はお任せください。  
特技は電卓の早打ち！！
- ・2歳児 りんご組：桑原みどり  
珍しいカエルを飼育しています。
- ・1歳児 ぶどう組：沖野智子（保育リーダー）  
珍しいトカゲを飼育しています。
- ・0歳児 いちご組：大村久美子  
「だるまさんがころんだ」をする黒猫を飼っています。



つかまってみてみた



かくれてみた



ウクレレ弾いてみた

保育士 村上育江 小林南美 浦岡翔子  
大司れん 藤川和絵  
調理員 西村正美 石田理江 野原沙優里



## 保健だより



### ～子供の基本的な生活習慣について～

子どもの基本的な生活習慣「食事・睡眠・排泄・清潔・衣類の着脱」を援助するうえで大切な事は、子どもが主体的に身の回りの事ができるようになることです。その為には0.1.2歳からの大人の丁寧な関わりが不可欠です。例えば手洗いです。蛇口をひねる、石鹸を出す、など自分でしようとする意欲が見られるときは見守りましょう。やりたい気持ちはあっても技術が伴わないときは大人が丁寧に教えます。時間がかかったり周りが水で濡れたりしますが、最小限の援助にとどめることが次への意欲につながります。  
子どもの「したい！」を引き出し自然な形で基本的な生活習慣を身に付けることが大切です。



## 安全だより



### ～乳幼児の家庭でのお散歩の注意点～

お子さんとの散歩が気持ち良い時期になり「ワンワンいるね」など身近な事から親子のふれあいも生まれます。家庭でのお散歩での注意点として

- ①紫外線対策・・・薄い長袖と帽子を着用。  
(紫外線の浴び過ぎは皮膚や目に悪影響)
- ②水分補給・・・マグや水筒でこまめな水分補給。子どもは汗かきなので脱水を防ぐ。
- ③温度調節・・・子どもは体温調節がうまくいかない為、衣類による温度調節に注意。

